来年日本人初「北極点無補給・単独・徒歩到達」目指す冒険家・ 荻田泰永カナダ北極圏海氷上「1000km無補給・徒歩踏破」 成功

第42回大宅壮一ノンフィクション賞受賞・ノンフィクション作家

・角幡唯介も同行

プレスリリース 報道機関各位 2011年5月22日

荻田泰永北極点事務局東京連絡所

来年日本人初「北極点無補給・単独・徒歩到達」目指す冒険家・荻田泰永 カナダ北極圏海氷上「1000km無補給・徒歩踏破」遂に成功 第42回大宅壮一ノンフィクション賞受賞・ノンフィクションライター角幡唯介も同行

食料・燃料などの再補給なし、物資90kgを積み込んだソリを自力で曳き続ける■ 北極冒険家の荻田泰永(33歳、北海道上川郡在住)は、現地時間3月8日 (日本時間月9日

-)北極探検の航空基地として知られるカナダ・レゾリュートを出発、最終目標のジョアへブンに向かい冒険を開始しました。そしてついに日本時間5月15日
- 、1000kmの全行程を終了、最終目標地のジョア・ヘブンに到着いたしました。

カナダ北極圏の海氷上を1000Kmにわたり、90kgの食料・燃料・キャンプ道具などの荷物を積み込んだソリを自力で曳き続け、零下40度Cにも下がる酷寒の海氷上を、途中で食料・燃料などの補給を一切受けず、やって参りました。

東日本大震災でかつて経験したことがない悲惨な状況に追いやられている日本人に対し、困難に 挑戦し、それに打ち勝つことの喜びと勇気を、少しでも与えることができれば幸いです。

- ■129人全員行方不明の英フランクリン探検隊が辿ったルートと同じルートを歩く■今回の徒歩ルートは19世紀半ば、極地探検史上最大のなぞとされる、129人全隊員が行方を絶った英国フランクリン探検隊が辿ったとされるルートと同じです。同探検隊の足跡を追跡調査しているノンフィクションライターで探検家の角幡唯介(35歳、東京都豊島区在住)が同行、荻田と同様ソリによる自力歩行踏破に挑戦、同探検隊の足跡を辿ります。
- ■海氷状態の不良、予想以上のホッキョクグマの出現で出発が遅る■

二人は去る2月22日

、日本を出発、カナダに入り、エドモントン、イカルイット、レゾリュートで食料・燃料・テントなど必要物資調達、寒さに慣れる訓練など準備をしていました。現地からの報告によると、海 氷凍結状態の不良、予想以上のホッキョククマの出現などにより、

開始を予定より遅らせていましたが、現地時間3月15日 (日本時間月16日

-)、滞在中のレゾリュートからジョアへブンに向けて、1000kmに及ぶ徒歩踏破を目指し開始しました。
- ■最終目標は地球のてっぺん、北緯90度の「北極点」へ■

荻田は2000年の大学生時代、冒険家・大場満郎氏が企画した「北磁極冒険ウォーク」に参加、現在に至るまで合計10回の北極行を経験した数少ない北極専門探検家の1人です。最終目標は地球のてっぺん、北緯90度の「北極点」へたった一人で荷物を引いて、誰の力も借りず、途中で物資

の再補給を受けることもなく到達することです。

2012年、荻田はこの大偉業に挑戦します。今回の徒歩行はその前段の訓練、調査、経験などのために実施しました。

■広がっていくfacebook, twitterでの応援の輪■

今回の冒険では、荻田の状況をいち早く知らせるためにfacebookとtwitterを全面的に利用しました。応援してくれる方々とのコミュニケーションを取りながら、子供たちからの質問にも答えたりして、冒険を進めることで、より身近に冒険を感じてもらうことを意識しました。このようなコミュニケーションを通じ、いま東日本大震災で辛い世相である日本に少しでも勇気と元気を与えられればと思います。

●荻田泰永(おぎた・やすなが)の略歴●

〒071-1261 北海道上川郡鷹栖町21-15-3

電話: 090-4833-0030 / e-mail: yasu@ogita-exp.com

北極冒険家。1977年神奈川県生まれ。33歳。2000年に冒険家・大場満郎氏の「北磁極を目指す冒険ウォーク」に参加。2002年レゾリュート〜グリスフィヨルド単独徒歩行(500キロ)、2004年グリーンランド内陸氷床国際犬ぞり縦断隊(2000キロ)、2010年レゾリュート〜北磁極単独徒歩行(650キロ)など。ホームページhttp://www.ogita-exp.com/

●角幡唯介(かくはた・ゆうすけ)の略歴●

〒171-0051 東京都豊島区長崎3-14-2-205/ E-mail kakuhata1976@ybb.ne.jp

電話・ファクス 03-3957-3027 携帯 090-6790-6856

ノンフィクションライター・探検家。元朝日新聞記者。1976年北海道生まれ。35歳。2002~03年、2009年、二度にわたりチベット・ツアンポー峡谷を単独で探検。その模様を書いた「空白の五マイル」(集英社)で第八回開高健ノンフィクション賞を受賞。2011年夏、ネパールの雪男捜索をルポした「雪男は向こうからやって来た」が集英社から発売される予定。

ブログ「ホ トケの顔も三度まで」http://blog.goo.ne.jp/bazoooka/

●内容・取材に関するお問い合わせは下記までお願いします●

荻田泰永北極点事務局東京連絡所

〒160-0004 東京都新宿区三栄町6第一原嶋ビル802

株式会社マイロプス内/担当・折坂聡彦

電話: 03-6457-4392 / FAX: 03-6457-4393 /メール: contact@ogita-exp.com

Generated by ぷれりりプレスリリース

https://www.prerele.com